

会議名 (審議会等名)		平成22年度 第1回 川西市社会教育委員の会		
事務局 (担当課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)		
開催日時		平成22年4月21日(水)10時00分～12時00分		
開催場所		教育情報センター 研修室		
出席者	委員	生田議長、佐道副議長、小柳委員、渡邊委員、安藤委員、岡田委員、田中委員、池田委員 計8名		
	その他			
	事務局	益満教育長、牛尾教育振興部長、小田こども部長、中塚総務調整室長、林教育支援室長、谷社会教育室長、渡瀬中央公民館長、藤巴中央図書館長、大屋敷子育て室長、小田中央公民館主幹、河野生涯学習センター所長、小倉青少年支援課長、片山主任、下邨主事 計14名		
傍聴の可否		可・不可・一部不可	傍聴者数	1名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1. 開会 2. 教育長あいさつ 3. 委嘱状交付 4. 委員及び職員紹介 5. 議題 役員の選出 ①社会教育委員の会、議長・副議長の選出 ②議長・副議長あいさつ 各協議会等役員の選出 ①人権教育協議会理事 ②青少年問題協議会委員 ③青少年センター運営委員 ④生涯学習センター運営委員会委員 ⑤図書館協議会委員 ⑥放課後こどもプラン運営委員 6. 報告事項 (1)平成22年度川西の教育－推進の方向－ (2)平成21年度公民館活動事業報告 7. その他		
会議結果		別紙のとおり		

審 議 経 過

事務局	第1回社会教育委員の会を開会する。
教育長	挨拶 委嘱状交付
事務局	議題に入る。 (1) 役員の選出について 社会教育委員の会、議長・副議長の選出 生田議長・佐道副議長
議長	挨拶
副議長	挨拶
事務局	議事の進行を議長・副議長に引き継ぐ。
議長	(2) 各協議会等役員の選出について 事務局に説明を求める。
事務局	人権教育協議会理事(任期 H21.5～H23.4)現在は、小柳委員と佐道委員。青少年問題協議会委員(任期 H21.7～H23.6)は欠員1名。青少年センター運営委員(任期 H22.4～H24.3)渡邊委員でしたが任期満了になっている。生涯学習センター運営委員会委員(H21.4～H23.3)は欠員1名。図書館協議会委員(任期 H21.7～H23.6)末澤委員と欠員1名。放課後こどもプラン運営委員(任期 H21.5～H23.4)現在は、渡邊委員。 これらの役員については社会教育委員を再任された方は、原則として、各委員任期満了まで継続とし、任期満了及び欠員となっています委員を本日選出していただきたい。 阪神北地区社会教育委員協議会の理事2名については、正副議長にお願いしたい。
議長	欠員並びに欠員の委員の選出をしたい。 事務局より各委員の職務を説明、議論のすえ滞りなく選出がおこなわれた。 青少年問題協議会委員の欠員に岡田委員を、青少年センター運営委員に渡邊委員を、生涯学習センター運営委員会委員の欠員に安藤委員を、図書館協議会委員の欠員に田中委員を選出したい。⇒ 全員了承。 次に報告事項について、事務局に報告を求める。
事務局	(1)平成22年度川西の教育—推進の方向—

	<p>(2)平成21年度公民館活動事業報告を資料により報告。</p>
議長	<p>事務局からに報告について、ご質問等がありませんか。</p>
A 委員	<p>昨年度から公民館使用有料化でご苦労されたことと思う。特に時間の単位を区分制にされたことで市民は長い時間をとる必要がなくなり、必要な時間だけ使えるのでサービスの向上につながったと思う。</p> <p>市民は、料金収入の使用方法について関心があり、それを目に見えるようにアピールしていただきたい。</p> <p>有料化にともない減免の基準を聞きたい。</p> <p>また今の時点では無理かもしれないが、有料化に伴う料金収入額も教えていただきたい。</p> <p>公民館の利用者数の減少について、どのように分析されているのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>公民館使用料金収入の使い道につきましては、見えるものでございますと、今年は東谷、多田、清和台の3館の大集会室の椅子の新調を計画しております。</p> <p>減免団体の基準ですが、運用規則を定めまして対応しており、市及び教育委員会が使用する場合は全額減免、県が使用する場合は半額減免しております。</p> <p>個々の団体につきましては、その団体を所管する部門が基準を定めており、それに基づき各施設管理者が減免をすることになっています。</p> <p>料金収入額につきましては、約700万円程度を見込んでいます。集計中ですので、後日報告します。</p> <p>利用者減につきましては、予約システムで利用者数を具体的に数字を出していけるようになり、実数に近くなったことと、中央公民館では行政利用が多く、利用人数を把握していなかったのですが、一定の指数を入れて把握するようになりました。</p> <p>利用者数は減っていますが、より実態に近い数字になったのではと考えております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他に質問ありませんか。</p>
D 委員	<p>今回の教育委員会の組織は変わってないのに、課長職(主幹)が一名減になったように感じるのですが。</p>
教育長	<p>組織として縮小ではなく、人事上の話です。主幹が2名おったところですが、きめこまやかな作業のできるよう配置し、現主幹が社会教育と文化財を兼務し、縮小ということではございません。</p>
D 委員	<p>社会教育に関っていた主幹が異動し、残っている主幹が対応さ</p>

教育長	<p>れるのか。</p> <p>本日は別の公務により失礼しておりますが、残っている主幹が対応します。</p>
D 委員	<p>わかりました。各公民館も嘱託館長がなられているが、そういうシステムになってきたのか、人員減にともない再雇用で対応するようになったのかどのように解釈はどうしたらよいのか。</p>
議長	<p>私も同じ質問をしようと思っておりました。D 委員さんの発言のように生涯学習、社会教育概念の部分もあるが、基本的に各地方自治体も川西と同じように機構改革があり、生涯学習部門の位置づけが非常にゆらいでいると思う。</p> <p>社会教育の充実と言葉としてはあるが、行政の部分の中での揺らいでおり、危機感がある。</p> <p>研修などに出席した時には、どこもこの問題があげられており、教育長よりお話いただいたが、専任主幹がおられなくなるのは、一般的には、社会教育の縮小とのとらえかたをされてしまうのではないかと危惧しております。</p>
教育長	<p>社会教育の縮小との思いはもっておりませんが、各地区公民館の館長が正規職員から嘱託職員になったのには、様々な要因がありますが、ひとつは市全体として税込減に伴う人件費の削減への対応はあるかと思えます。</p> <p>もうひとつは私の持論ですが、本来地区公民館の館長を地域にお願いしてもいいのではないかとの思いがある。</p> <p>川西の場合は行政センターを兼ねており、守秘事項の関係で地域にお願いできない部分があるが、別々であれば公民館を地域にお願いしていいのではないかと考えており、その中での措置でもあります。</p> <p>再任用・再雇用の職場の提供ということもありますし、財政状況が厳しいなかで地区公民館と行政センターを分けることができない中での対応とご理解いただきたいと思えます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他に質問等がありますか。</p>
副議長	<p>公民館で相当講座数が減っている点と、グループは月 2 回という決まりがあるようですが、空いている部屋は貸し出された方がいいのでは。</p> <p>有料化に伴い利用の状況がどのようになったのかが気になっている。</p> <p>教育長から公民館は地域にというお話がありましたが、その側面もあると思えますが、川西の教育の方向性を決め、取り組んでいく中で、公民館はある程度行政の方が関わらないと、市としての教育の方向性が見えにくくなる心配があると思う。</p>

教育長	<p>講座数の減少と合わせてお聞かせいただきたいと思う。</p> <p>市である程度ベクトルを決め、運用は地域にお願いするという形が本来あるべき姿で、その方向にいったとき社会教育委員の皆様にも議論いただいて、それを執行機関たる教育委員会で決め、地域にお願いする形が完璧だと思っております。</p>
議長	<p>この委員の会等で論議をし、執行機関である教育委員会で最終決められるというのは、そのとおりです。</p> <p>今後、研究・研修をやっていきたいと思います。</p> <p>具体的部分は、公民館よりお願いしたい。</p>
事務局	<p>当初は204講座企画していましたが、応募者が少ない講座の中止もあり、最終的に減になりました。</p> <p>貸館の月2回の件ですが中央公民館は月4回、地区館は月2回で貸館をしており、登録グループには優先枠で年間でのお部屋を確保する制度をとっております。</p> <p>中央公民館では2ヶ月前、地区館では1ヶ月前の時点で空いていれば、使っていただくようご案内しております。</p> <p>中央公民館の利用数につきましては、トータルで日計 51.7%、平日利用で 53%、土日祝で 49.1%となっております。</p> <p>中央公民館2月21日までの稼働率ですが、調理室や和室など利用が限定される部屋や、夜9時までの夜間も含め、トータル的には年間平均で 27.1%になっています。</p> <p>地区館に含めた数字は、後日報告します。</p>
議長	<p>川西の教育—推進の方向—を説明いただき、学校支援地域本部を是非とも引き続いて、強力に推進していただきたい。</p> <p>特に、先ほどの説明でもあったように中学校区を一つの核としてコーディネーターを育てながら活動の拠点にしていく方針を聞き、我々もいたしましても期待しています。</p> <p>学校現場で世代交代も進み、若い先生方には期待すべきものがあるかと思いますが、地域の方と接する時には、難しい部分があり、トラブルになることもあり、地域から不信感が出てくることもあると思いますので、その部分で先生への研修をお願いしたいと思っております。</p> <p>他にご質問はありませんか。</p>
F 委員	<p>明峰地区の青少年育成市民会議のメンバーになり、色々と話を聞きますと、私の子供の時代とは違うみたいで、先生が生徒に遠慮しないで厳しく対応されたらどうですかと話をしたことがある。</p> <p>ただ、現場を見ていない部分があるので、時間がある時に見学させていただけませんか。</p>
教育長	<p>基本的には学校長の判断になりますが、保護者、地域および行</p>

<p>議長</p>	<p>政との連携は、学校をコアだと思っています。</p> <p>ただ、難しいのは開放という部分と安心・安全という非常に相反する問題があり、一つの取り組みとしまして学校支援地域本部という取り組みを3ヵ年事業でやっております。</p> <p>今はモデル的に市全体で一つの学校支援地域本部でやっていますが、最終的には、歩いて行け、顔が見える範囲である中学校単位が理想的と思っています。顔が見えると安全・安心につながり、学校開放につながるからです。</p> <p>ただ、学校支援地域本部を学校単位でやった場合に、学校と協力や参加される方々が直接やりとりするのはなかなか難しい面がありますので、優れたコーディネーターが必要となり、その方の養成が大きな課題です。</p> <p>できる中学校区で立ち上げたいと思います。</p> <p>もう一つは、授業に100%ついていけない子の補習的な部分を全部補えるかは家庭的な問題も含めて、非常に大きな問題であります。</p> <p>このような問題の解決には、保護者・地域・学校を中心とした連携が重要となってきますし、その中で授業見学も全体の取り組みでの対応と考えています。</p> <p>今回のご意見も参考にさせていただきながら、学校現場でもいろんなプランをさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>時間が少なくなってきましたので事務局よりの連絡をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>平成22年度の開催予定について説明。(今回を含めて年8回を予定)</p> <p>次回のテーマ設定の参考事項(4つの力・家庭教育支援・子どもの居場所づくり)について説明。</p> <p>阪神北地区・近畿地区・全国の研修会等日程について説明。</p>
<p>議長</p>	<p>昨年度までは委員の会独自にテーマも決めていましたが、今年は事務局から提示していただいた方向で検討したいと思います。</p> <p>日程も含めましてご了解願います。</p> <p>(全員了承)</p> <p>以上で閉会する。</p>